

経営システム工学科 平成23年度卒業論文発表会

日時：平成24年2月20日(月)9:30-15:45
場所：下記のとおり
発表時間：1人14分(発表10分, 質疑応答4分)

会場	第1会場:大岡山西9号館311号室		
教員	伊藤、村木、宮川、鈴木、永田、中田、妹尾、高野、田中		
時間	発表者	指導教員	論文題目
9:30	立山 健太	宮川	計量文献学における判別手法の性能評価
9:45	阿部 卓也	鈴木	解釈レベル理論を考慮した顧客ロイヤルティ構造に関する研究
10:00	入山 甲拓	村木	平滑化関数を用いた倒産判別モデルの提案
10:15	上村 遥	鈴木	サプライチェーンにおける発注数量・時期の柔軟性に関する研究
10:30	小林 修	伊藤	中断プロトコルと意図対応注視解析による目的地探索戦略
10:45	坂元 脩也	永田	株主優待に関する実証分析
11:00	橘 勇輔	永田	ディスクロージャーの質が流動性に与える影響
11:15	田中 英貴	伊藤	思考プロセスに基づく総合的思考力の測定方法
11:30	千葉 純貴	中田	コンピュータの利用による金融危機を想定したポートフォリオ選択
11:45	土谷 拓人	中田	多重マルチドロップを考慮した車両輸送計画
12:00-13:15 昼休み			
13:15	アム テュイ ティ ビエン	鈴木	参照点依存性に着目した顧客満足度に関する比較研究
13:30	福田 達弥	伊藤	事務作業に対する効率・エラー・ワークロードへの影響
13:45	光野 正人	妹尾	成功体験がもたらす企業の環境不適合に関する研究
14:00	村岡 利之	永田	配当政策と利益調整の関連性
14:15	村上 博昭	妹尾	定年延長型高齢者雇用の阻害要因
14:30	楊 越媛	村木	ポートフォリオ選択問題における収益率予測モデルの活用
14:45	米村 春彦	妹尾	革新的新製品の提案数に上司がおよぼす影響
15:00	江藤 大和	村木	利益変動リスクを考慮したプロセス柔軟性について
15:15	徐 志	村木	福島原発事故における輸入規制の要因について
15:30	杉田 潔	鈴木	SCMにおける組織内認識ギャップがもたらす影響に関する研究

経営システム工学科 平成23年度卒業論文発表会

日 時: 平成24年2月20日(月)9:30-15:30
場 所: 下記のとおり
発表時間: 1人14分(発表10分, 質疑応答4分)

会場	第2会場:大岡山西9号館414号室		
教員	圓川、水野、飯島、鍾、青木、梅室、Bjoern、北原、包		
時間	発表者	指導教員	論文題目
9:30	安藤 勇祐	飯島	グループ向け状況依存サービスの実装-「ソーシャルランチ」への適用-
9:45	石渡 小絵	飯島	ビジネスプロセスモデリング手法DEMOによる従業員の意識・行動変化の検証
10:00	江澤 創	圓川	情緒・機能的価値を通じた製品評価と個人文化の関わり
10:15	大竹 延明	鍾	ソーシャルメディアマーケティングに関する消費者視点からの分析~Twitterを事例として~
10:30	神谷 俊介	鍾	日本市場においてブランド拡張が消費者にもたらす影響の考察-適合性要素の観点から-
10:45	佐々木 峻	飯島	フレキシビリティ導入のためのビジネスプロセスのリデザイン法
11:00	三箇 公維	青木	眼球インタラクションにおける注視分類に基づく学習に対する入力方法の影響分析
11:15	柴崎 佑翔	水野	リスク評価にCVaRを用いた保険料決定の最適化モデル
11:30	杉崎 純一	圓川	SCMを阻害する日本型商習慣の問題点と考察
11:45	胤森 章	青木	実作業観察と視線計測に基づく透析介助時の技士の行動分析
12:00-13:15 昼休み			
13:15	中原 由香子	青木	女性活躍の推進対策に対する学生の認識と企業の明示的・非明示的コミュニケーションの影響
13:30	二ノ宮 拓洋	梅室	ユーザが家庭用ロボットとの関係を構築する上で重要だと考えるロボットの特徴の要因
13:45	宮崎 友貴	圓川	個人の文化の消費者属性・国による差と顧客満足度に与える影響
14:00	山本 信一郎	梅室	ネガティブな感情を活用した製品・サービスの構造の分析方法の提案と構造と個人差の関係の分析
14:15	吉住 遼	水野	CVaRを用いた与信ポートフォリオ選択問題に対する多期間最適化
14:30	渡邊 公悠	水野	消費者の購買行動を考慮したプロ野球チケットの最適価格設定
14:45	中嶋 遼一	梅室	ユーザの個人特性がユーザ・エクスペリエンスの時間的变化に与える影響
15:00	鍋山 隆人	鍾	ソーシャルコマースによる消費者行動への影響の検証
15:15	ラン 知時	鍾	中国における大手家電メーカーハイアール・グループ(海爾集団)のグローバル戦略